



一般社団法人 雨漏り検診技術開発研究所 (アマケン)

大淵 正 所長

# 雨漏り

## 発足後2年で会員57名 年間2〜300件の雨漏り調査実績

住宅の維持保全に係る雨漏り事案の解決ニーズは高い。屋根上に太陽光パネル設置によるトラブルばかりでなく、高気密・高断熱化による弊害で雨漏りが年々深刻化している。雨漏り検診技術開発研究所の大淵正理事長にインタビューした。

一般社団法人雨漏り検診技術開発研究所(通称アマケン) 所長 大淵正)は、外装工事を営む事業者を中心に組織し、高品質の検査技術と、公正で中立な立場で活動する団体として平成21年10月に設立した。

同研究所では、確実な雨漏り調査を実施するため、雨漏りの検査装置及び検査方法に関する「特許技術」を会員向けに提供し、雨漏りの検査・診断技術向上を目的とした専門技術者育成活動の他、雨漏りに関する各種セミナーを主催する。現在、首都圏を中心に活動している比較的小規模な外装施工

業者のオーナーや役員を中心に構成され、会員数57名(雨漏り検診アドバイザー・雨漏り検診士)を輩出、年間2〜300件の雨漏り事案解決の実績を有する。

### 難しい雨漏り原因の特定

一般的に雨漏り事案の大半は初期段階で解決可能だが、一向に鎮静化せず、居住者の不安や施工業者に対する不信任に繋がり、問題解決を長引かせる事で、被害の拡大を招いているケースも決して少なくない。

従来の雨漏り検査方法として、建物の外装部に雨天時と同じ状況を再



特許のオリジナル工法で雨漏りを検査

問診表 (セリゲシート)		問診日時	問診人員
依頼者データ	① 依頼人 ② 住居 ③ 住所 ④ 建物名	⑤ 依頼 ⑥ 調査	⑦ 調査員 ⑧ 調査員
物件データ	⑨ 所在地 ⑩ 築年数 ⑪ 用途 ⑫ 用途 ⑬ 用途 ⑭ 用途 ⑮ 用途 ⑯ 用途 ⑰ 用途 ⑱ 用途 ⑲ 用途 ⑳ 用途 ㉑ 用途 ㉒ 用途 ㉓ 用途 ㉔ 用途 ㉕ 用途 ㉖ 用途 ㉗ 用途 ㉘ 用途 ㉙ 用途 ㉚ 用途 ㉛ 用途 ㉜ 用途 ㉝ 用途 ㉞ 用途 ㉟ 用途 ㊱ 用途 ㊲ 用途 ㊳ 用途 ㊴ 用途 ㊵ 用途 ㊶ 用途 ㊷ 用途 ㊸ 用途 ㊹ 用途 ㊺ 用途 ㊻ 用途 ㊼ 用途 ㊽ 用途 ㊾ 用途 ㊿ 用途	① 調査 ② 調査 ③ 調査 ④ 調査 ⑤ 調査 ⑥ 調査 ⑦ 調査 ⑧ 調査 ⑨ 調査 ⑩ 調査 ⑪ 調査 ⑫ 調査 ⑬ 調査 ⑭ 調査 ⑮ 調査 ⑯ 調査 ⑰ 調査 ⑱ 調査 ⑲ 調査 ⑳ 調査 ㉑ 調査 ㉒ 調査 ㉓ 調査 ㉔ 調査 ㉕ 調査 ㉖ 調査 ㉗ 調査 ㉘ 調査 ㉙ 調査 ㉚ 調査 ㉛ 調査 ㉜ 調査 ㉝ 調査 ㉞ 調査 ㉟ 調査 ㊱ 調査 ㊲ 調査 ㊳ 調査 ㊴ 調査 ㊵ 調査 ㊶ 調査 ㊷ 調査 ㊸ 調査 ㊹ 調査 ㊺ 調査 ㊻ 調査 ㊼ 調査 ㊽ 調査 ㊾ 調査 ㊿ 調査	① 調査 ② 調査 ③ 調査 ④ 調査 ⑤ 調査 ⑥ 調査 ⑦ 調査 ⑧ 調査 ⑨ 調査 ⑩ 調査 ⑪ 調査 ⑫ 調査 ⑬ 調査 ⑭ 調査 ⑮ 調査 ⑯ 調査 ⑰ 調査 ⑱ 調査 ⑲ 調査 ⑳ 調査 ㉑ 調査 ㉒ 調査 ㉓ 調査 ㉔ 調査 ㉕ 調査 ㉖ 調査 ㉗ 調査 ㉘ 調査 ㉙ 調査 ㉚ 調査 ㉛ 調査 ㉜ 調査 ㉝ 調査 ㉞ 調査 ㉟ 調査 ㊱ 調査 ㊲ 調査 ㊳ 調査 ㊴ 調査 ㊵ 調査 ㊶ 調査 ㊷ 調査 ㊸ 調査 ㊹ 調査 ㊺ 調査 ㊻ 調査 ㊼ 調査 ㊽ 調査 ㊾ 調査 ㊿ 調査

問診表(実用新案)  
雨漏り被害の状況を精査



Inspect and Diagnosis  
Technology Development Laboratory  
of Roof Leak

ロゴマーク(商標登録)  
会員は57名